

特定盛土等に関する工事の変更届出書

〇〇年 〇月 〇〇日

宮崎県知事 殿

届出者 住所 ○○県○○市○○町○○番地○
氏名 ○○ ○○

宅地造成及び特定盛土等規制法第 28 条第 1 項の規定により、下記の工事の変更について届け出ます。

記

1	工 事 主 住 所 氏 名 (法人役員住所氏名)	宮崎県〇〇市〇丁目〇〇 〇〇株式会社 〇〇 〇〇 (〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇)			
2	設 計 者 住 所 氏 名	〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社△△ △△ △△			
3	工 事 施 行 者 住 所 氏 名	〇〇県〇〇市〇丁目〇〇 株式会社◇◇ ◇◇ ◇◇			
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	〇〇市〇〇町〇〇番地〇 (緯度：△△度△△分△△秒、経度：△△度△△分△△秒)			
5	土 地 の 面 積	576.54 平方メートル			
6	工事着手前の土地利用状況	農地			
7	工事完了後の土地利用	宅地（住宅建築あり）			
8	盛 土 の タ イ プ	平地盛土 ・ 腹付け盛土 ・ 谷埋め盛土			
9	土 地 の 地 形	溪流等への該当 有・無			
10 工 事 の 概 要	イ 盛土又は切土の高さ	1.50 メートル			
	ロ 盛土又は切土をする 土 地 の 面 積	345.54 平方メートル			
	ハ 盛土又は切土の土量	盛 土	543.21 立方メートル		
		切 土	2.30 立方メートル		
	ニ 擁 壁	番 号	構 造	高 さ	延 長
		1	L型側溝	30センチメートル	34.32 メートル
		2	集水桝	30センチメートル	3箇所
		3	雨水桝	30センチメートル	3箇所
	ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長
		該当なし			
	ヘ 排 水 施 設	番 号	種 類	内法寸法	延 長
		1	L型側溝	30センチメートル	34.32 メートル
		2	集水桝	30センチメートル	3箇所
3		雨水桝	30センチメートル	3箇所	
ト 崖面の保護の方法	コンクリート造の擁壁で保護				
チ 崖面以外の地表面 の 保 護 の 方 法	崖とは反対方向に排水勾配を設定				
リ 工事中の危害防止 の た め の 措 置	・工事区域内にバリケード設置 ・工事車両について、ガードマンを配置し交通整理				
ヌ そ の 他 の 措 置	なし				
ル 工事着手予定年月日	〇〇年 〇 月 〇〇 日				
ロ 工事完了予定年月日	〇〇年 〇 月 〇〇 日				
ワ 工 程 の 概 要					
11	そ の 他 必 要 な 事 項	農地法第5条第1項許可申請中, 砂防指定地内行為許可申請中			
12	変 更 の 理 由	盛土高さ、土量の変更			

ないで、自らその工事をする者を記載。

・資格を有する者の設計によらなければならない
工事を含む場合には、〇印を付し、資格を有する
ことを証する書類を申請書に添付

工事の請負人は、請負契約によらずに、自らその工事を施行する者を記載。

- ・申請地内の土地について、地番までそのすべてを記載。
- ・代表地点の緯度経度は、申請地の中心地点を基本とし、位置を正確に表すため、秒については小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを記載。

・許可申請に関連のある土地の総面積であつて、盛土、切土を行わない道路、法面等を含む。

・次の分類から選択（複合選択可）。
 (1) 平地盛土：勾配1/10以下の平坦地において行われる盛土で、谷埋め盛土と該当しないもの
 (2) 腹付き盛土：勾配1/10超の傾斜盤状において行われる盛土で、谷埋め盛土と該当しないもの
 (3) 谷埋め盛土：谷や沢を埋め立てて行う盛土

・「溪流等」として定める土地は、次のとおりである。

- (1) 山間部における、河川の流水が継続して存する土地
- (2) 山間部における、地形、草木の生茂の状況その他の状況が前号の土地に類する状況を示している土地
- (3) (1)、(2)の土地及びその周辺の土地の地形から想定される集水地域にあって、雨水その他の地表水が集中し、又は地下水が湧出するおそれの大きい土地

・「溪流等」の範囲とは、溪床10度以上の勾配を呈し、0次谷を含む一連の谷地形であり、その底部の中心線からの距離が25m以内の範囲。

・対象規模の盛土、切土又は盛土と切土を同時に
行う場合に該当する最大高さを記載。最大高さ
は、現況地盤面と造成後の地盤面の差が最も大き
くなる箇所を記入。

・届出の対象となる土地の面積、即ち、盛土、切土又は土石の堆積をする土地の面積であつて、手数料の額を判定する面積

・工程表を添付。

・他法令による許認可の状況をすべて記入